

**NISSO
PRONITY**

福証IRフェア

2023年5月12日

 **日創プロニティ**
(証券コード：3440)

目次

INDEX

- 1 会社概要
- 2 当社を取り巻く事業環境と
チャレンジ
- 3 2023年8月期第2四半期決算概況と
通期業績見通し
- 4 第3次中期経営計画の進捗状況
- 5 当社の配当方針



会社概要

会社概要

商号 日創プロニティ株式会社
(英文表記：NISSO PRONITY Co., Ltd.)

代表者 代表取締役社長 石田 徹

本社 福岡県福岡市南区向野2-10-25

設立 1983年9月

資本金 1,176百万円

セグメント 金属加工、ゴム加工、建設、タイル

関連会社 連結子会社10社



ISO9001

日創グループ

 日創プロニティ

 吾孺ゴム工業

 日創エンジニアリング

 綾日精機

 ダイリツ

 壹会

 ワタナベテクノス

 ニツタイ工業

 天神製作所

社名の由来

1983年創業時から、**加工**をキーワードに、事業領域の拡大を図り、
2007年福岡証券取引所Q-Boardへの上場を機に社名を変更

加工
Processing

無限
Infinity

前進
Progress

造語

より事業領域を明確に
社名に想いをこめた

プロニティ
PRONITY

加工の無限の可能性を追求し続ける

グループ経営理念・ミッション・ビジョン

グループ経営理念 **日々創造**

当社の創業の精神であり社名の由来でもある
「日々創造」する企業集団であり続ける



経営理念のもと



グループミッション **価値の創造**

金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し(事業の多角化)、**新たな価値を創造**していくことを通じて、**社会に貢献**してまいります。

グループビジョン **加工の総合企業**

加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループを目指して、**エンドレスに挑戦**をします。

サステナビリティの基本方針

加工を通じてあらゆるニーズにお応えすることで、
社会的価値と経済的価値を満たしていく



日創プロニティの歩み “加工力”の探求

日創グループの歩み ～“加工力”探求の歴史～

1978年7月

プレス加工をスタート
建築金物業界へ納入

石田利幸が日創商事を個人創業

1983年9月

法人化により日創工業有限会社を
設立、山田工場を開設

万能金具



トイ受け金具



排水管バンド



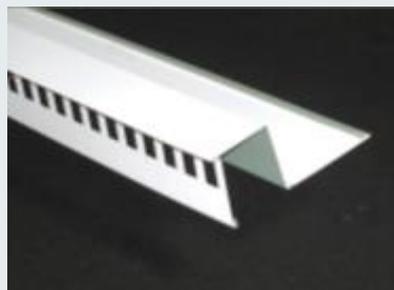
プレスライン



1991年

ロール成形加工を
スタート
建築建材業界へ進出

屋根材・壁材・役物



山田工場第2工場 (企画品)



1993年

畜産業界へ進出

畜舎向け建築資材



エサトイ (畜舎向け)



巣箱 (ネスト)

ステンレス水槽 (畜舎向け)



1997年9月

日創工業株式会社へ
組織変更

山田工場を
現在の場所へ移転



日創プロニティ
山田工場増設の歴史

第1、2工場	1997年
第3工場	2001年
第4工場	2005年
第5工場	2007年

日創グループの歩み ～“加工力”探求の歴史～

1999年

オーダー加工スタート
クリーンルーム業界へ
進出

ブランクパネル
(クリーンルーム天井パネル)



ロール成形加工
ラインナップ拡充

スレート小波、
スレート大波、角板



2000年

製缶板金加工スタート
プラント業界へ進出
塗装ブース



筐体



2003年

形鋼加工をスタート
パイプ・アングルベンディング加工



2005年

レーザー加工を
スタート

リニアドライブレザーマシン



曲げ加工の自動化

ベンディングロボットシステム



自動曲げ加工

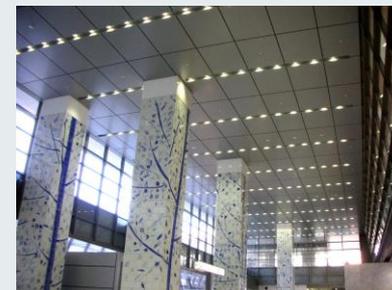


精密板金加工スタート

精密加工



複合板加工スタート



※複合板とは？
発泡ポリエチレン樹脂をアルミニウムでサンドイッチした板材で、軽く、丈夫で、加工をしやすい素材です。屋内外の化粧板等に用いられます。

NCルーター加工機



日創グループの歩み ～“加工力”探求の歴史～

2007年

日創プロニティ株式会社へ
商号変更

2007年8月

福岡証券取引所
Q-Board市場へ上場



2008年

金属サンドイッチ
パネルの生産開始

金属サンドイッチパネル



2010年

産業用太陽電池アレイ
支持架台の生産開始

環境エネルギー
業界へ進出

太陽電池アレイ支持架台



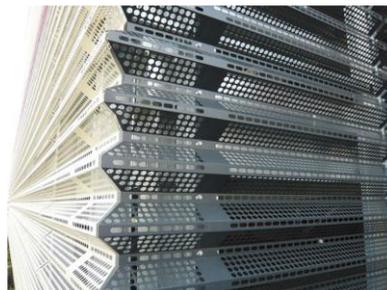
2011年

住宅向けソーラーネオポート



外装資材の
ラインナップ拡充

有孔折板



駐車場業界へ進出

立体駐車場向けカラーパネル



2012年

耐火パネルで国土交通
大臣認定を取得

耐火パネル



2014年

福島工場を開設
稼働開始



日創グループの歩み ～“加工力”探求の歴史～

2015年

シェードウォール
(デザインパネル)



エコプロダクツ2015
出典作品デザインパーゴラ



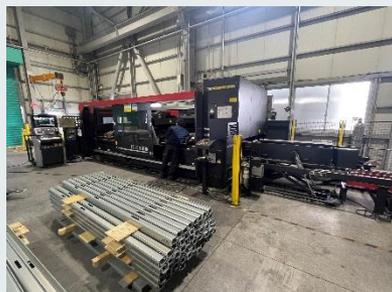
ユニブース
(耐火・断熱パネルブース)



形鋼加工を強化

2016年

ロータリーインデックス搭載
レーザー加工機



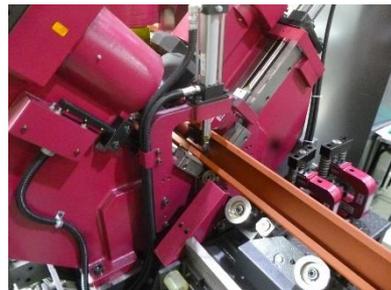
グループ経営の開始
金属加工に止まらず
事業領域の拡大へ！



2017年

母屋胴縁加工スタート

母屋・胴縁加工



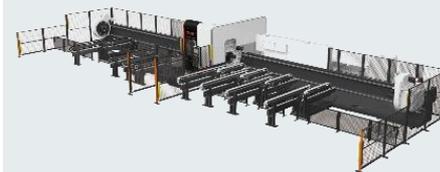
2019年7月

東京証券取引所
市場第二部へ上場
福岡証券取引所
本則市場への市場変更



2022年

3Dレーザー加工機
ファブリギア



橋梁土木用金属サンド
イッチパネルへ進出

NCパネル加工機

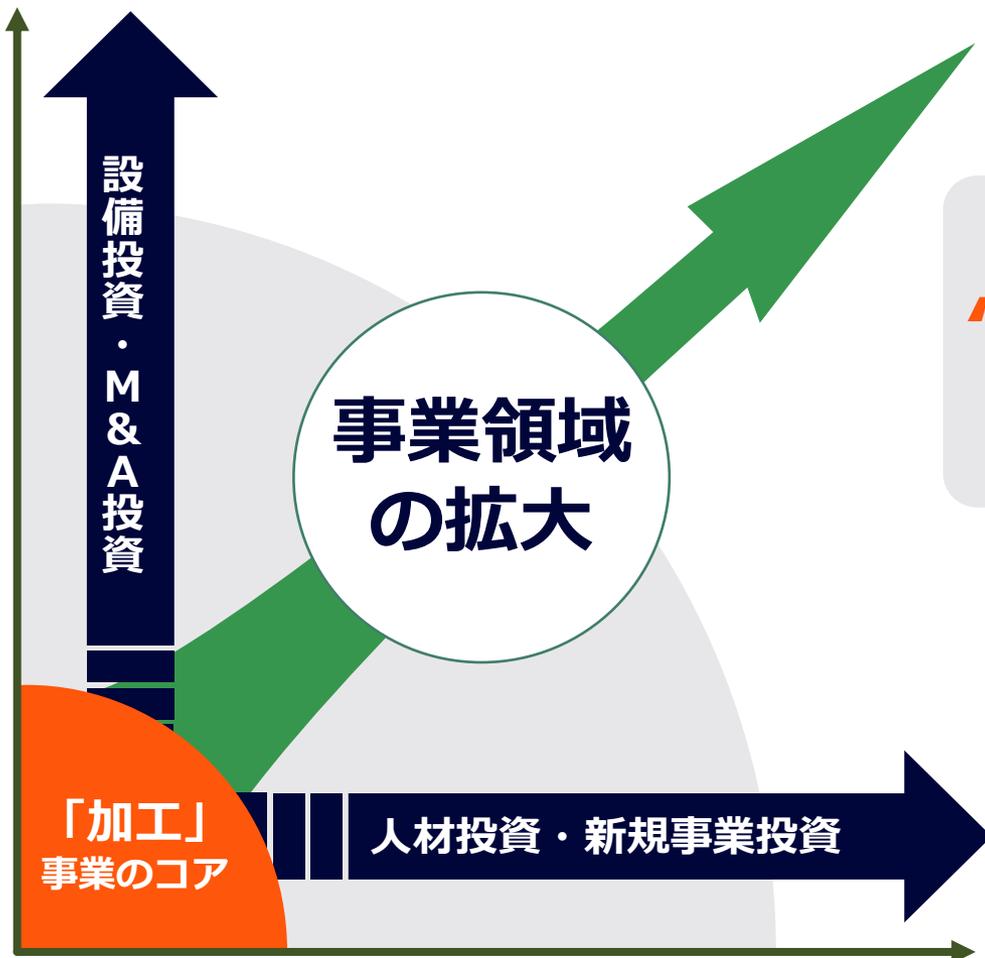


施工例



成長への投資

M&A、設備、人材、新規事業



グループビジョン 加工の総合企業

加工を通じてお客様のあらゆるニーズに
応える企業グループ

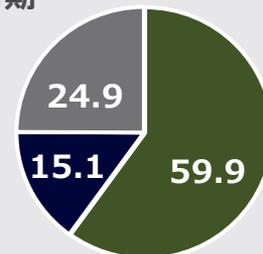
“加工力”

総合力、競争力
差別化により
収益力向上
付加価値を高める

◆金属事業のウエイトが大きい

2022年8月期

- 金属
- ゴム
- 建設



※当社では、「加工」とは「素材に付加価値を付けること」と定義しております。

金属加工の流れ一例（日創プロニティ）

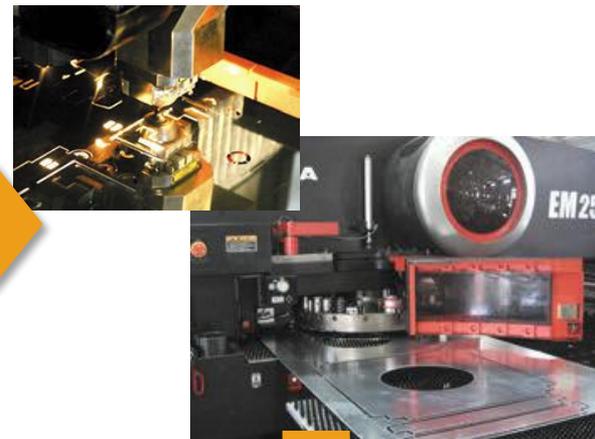
① 素材：コイル鋼材（薄板）



② 材料切断



③ レーザー加工
ターレットパンチプレス加工



⑥ 溶接・組立



⑤ 曲げ加工



④ バリ取り



当社の強み：あらゆる**金属加工**を**ワンストップ**で行える

主な事業領域（日創プロニティ）

■ 各種金属加工製品（オーダー加工品）



① 太陽電池アレイ支持架台



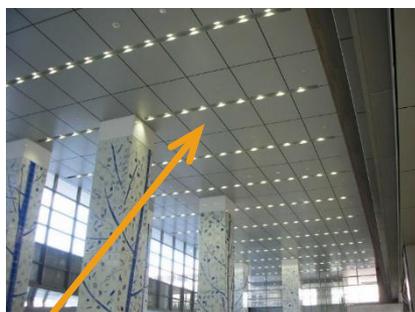
② 太陽光発電搭載型カーポート



③ 金属サンドイッチパネル
(耐火パネル)



④ アートパネル:外部天井パネル
(JR博多駅)



⑤ 天井パネル:内装化粧パネル
(JR博多駅)



⑥ 天井パネル
(JR東京駅キッチンストリート)



⑦ 外壁パネル
(アルファロメオ店舗)



⑧ デザインシェードウォール
(ポリスミュージアム:東京銀座)

■ 各種金属加工製品（企画品）



⑨ 金属屋根材



⑩ 金属壁材

➢ 広範囲な業界に向けて、
各種金属加工製品を提供

- ・ 建築、建材
- ・ 環境、エネルギー
- ・ 工場、プラント
- ・ 駐車場
- ・ 仮設、プレハブ
- ・ 半導体
- ・ 農業、畜産

ほか

主な製品①太陽電池アレイ支持架台



地上設置タイプ



営農タイプ



カーポートタイプ

メガソーラー受注実績

(2023年3月現在)

303件/1,829MW

一般家庭の年間電力消費量
約55万世帯分※に相当！

再エネ社会へ
大きく貢献！

※世帯年間電力消費量4,322kWh、
太陽光発電設備利用効率15%として当社試算

NISSO PRONITY Co., Ltd. All Rights Reserved.

主な製品② 金属サンドイッチパネル (耐火パネル・不燃断熱パネル)

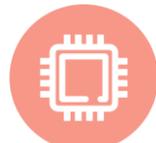
■耐火パネル

- ・ 1000度の熱で1時間燃えることがない性能を持つ。
- ・ 国土交通大臣の認定が必要な製品。(耐火認定)
- ・ 主に大型施設の防火区画で使用される。

■不燃断熱パネル

- ・ 国土交通大臣の認定が必要な製品。(不燃認定)
- ・ 温湿度管理、気密管理、衛生管理が必要な室内の内装材として使用される。

主な利用シーン



半導体工場



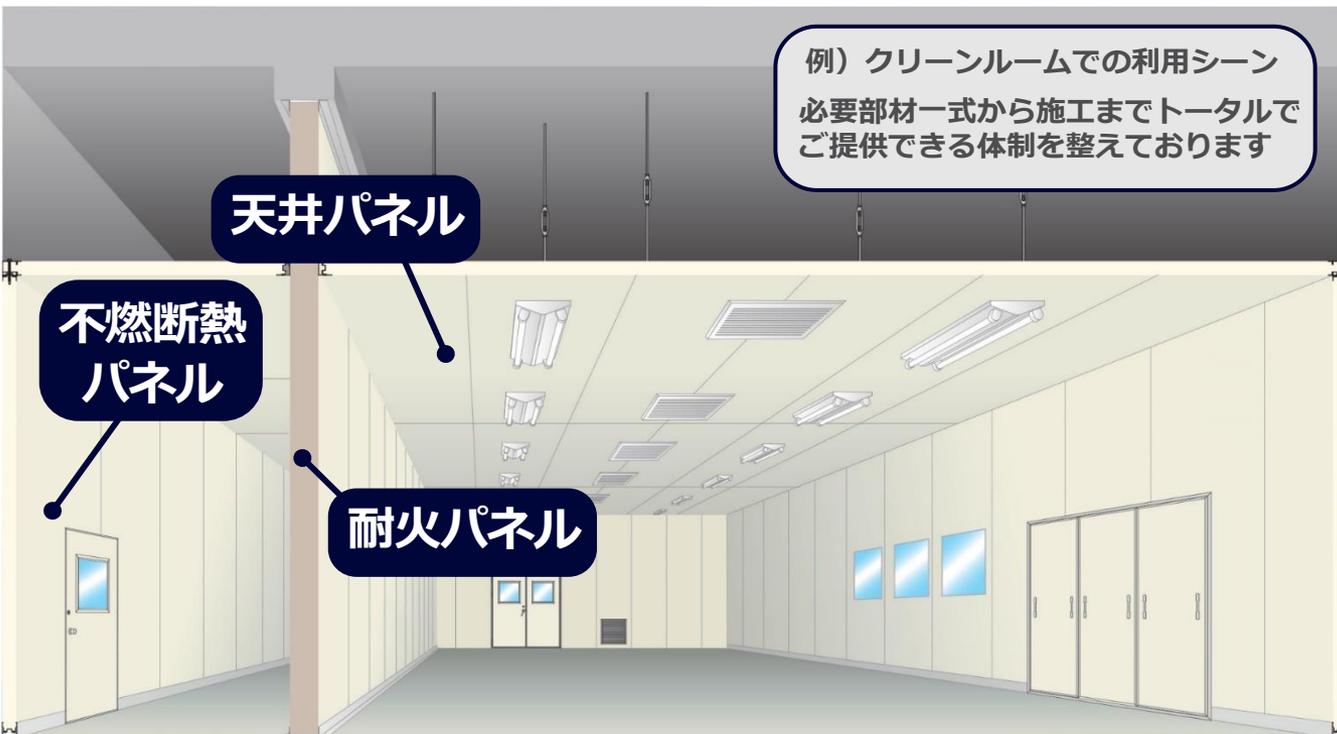
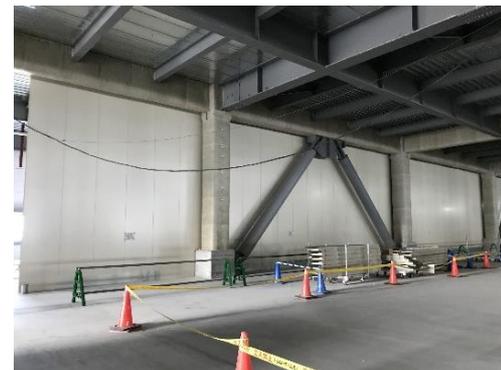
物流倉庫



薬品工場



食品工場



主な事業領域（グループ会社）

吾孺ゴム工業株式会社 (2016年グループ化)



AZラバージョイント

下水道マンホール継ぎ手部分を
ゴム化した耐震部品



エキスパンションシール
地震や温度伸縮などによる
変形から建築物を守るため
の接合部材

- 原料ゴムからの一貫生産を行う**ゴムメーカー**として、土木製品、一般工業製品、建築製品、車両用品、道路用品を製造。

日創エンジニアリング株式会社 (2016年設立)



太陽電池アレイ支持架台設置工事



耐火/不燃断熱パネル設置工事

- 日創プロニティが「太陽電池アレイ支持架台」や「金属サンドイッチパネル」を供給し、日創エンジニアリングが**設置工事**を行うことで「材工一括受注」体制を構築。

綾目精機株式会社

(2017年グループ化)



- 金属の**切削加工**を中心に、印刷機、農業用機械、車輛、工作機械等の部品など、幅広い分野の多様な受注に対応。

株式会社ダイリツ

(2018年グループ化)



風量調節ダンパー

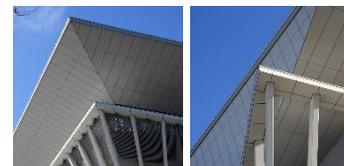


大型ダンパー

- 空調設備の風量調節装置、防火防煙装置として用いられる、**空調用ダンパー**を製造。
- 各種プラント・発電所・トンネル等、様々な用途に対応するオーダーメイドの特殊製品の製造に注力。

株式会社壹会

(2022年グループ化)



東京アクアティクスセンター
4F頂部庇



東京国際空港羽田国際線地区
ターミナルビル 大屋根軒天パネル

- 金属パネル、ルーバーなど設計・施工を主業とする建築金物・金属製建具工事業者
- 設計施工能力や品質管理能力に強みを有する

株式会社ワタナベテクノス 株式会社エヌ・テクノス



ガス圧縮機用防音パッケージ



ディーゼル発電機用
防音パッケージ



ディーゼル発電機用
防音パッケージ



圧縮機用
防音パッケージ

- ▶防音BOX、消音ダクト等の設計、製造、販売を行うメーカー
- ▶筐体の製作に強く、**加工力強化**に寄与する
- ▶近年データセンター等の発電機向け案件増加に伴い業容拡大

当社製造拠点と距離が近く、**相互の製造・設計・調達協力**を含めたグループシナジーの発揮に期待

ニッタイ工業株式会社 エヌ・トレーディング株式会社



- ニッタイ工業株式会社は、タイルの製造・販売及び卸売を行う国内有数の**老舗企業**
- エヌ・トレーディング株式会社は、主にニッタイ工業株式会社向けにタイルの輸入販売を行う

営業拠点を主要都市**7か所**（東京・大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台・高松）に有しており、グループ全体の販路拡大につなげる。

タイルと金属という**素材の垣根を越えて、同じ「建材」というカテゴリ**において、グループ全体の顧客基盤を活かしながら、販路拡大を目指す。

金属内外装材とタイル内外装材という幅広い提案ラインナップを武器に、顧客獲得を推進。



株式会社天神製作所



畜産排泄物処理用攪拌機



- 畜産排泄物から堆肥を作る攪拌機や、堆肥をペレット状に成形するペレットマシンなど排泄物処理プラントを設計、製造、施工するメーカー

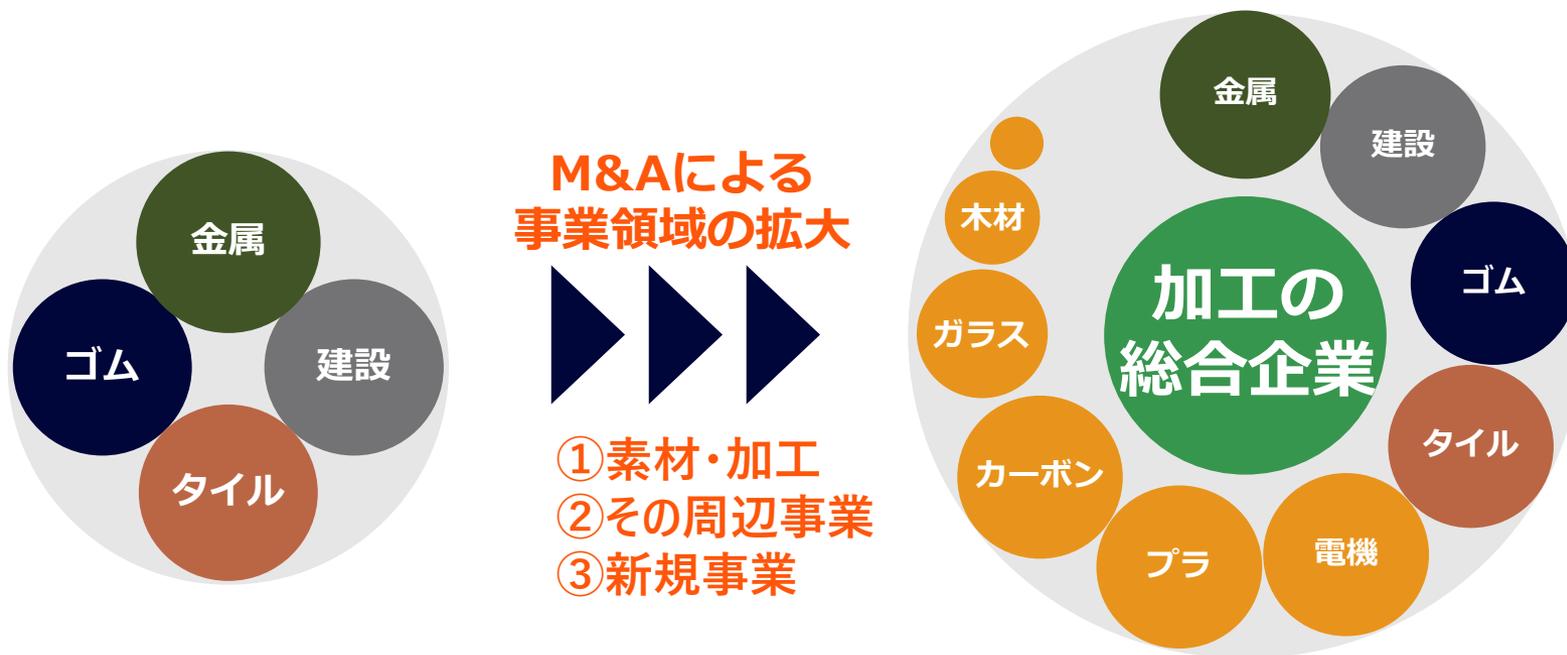


堆肥ペレットマシン

当社畜産関連資材ラインナップや、販売チャネルを活用し、相互に販路拡大を目指す

製造面や調達面でも、同じ九州にある企業として、シナジー発揮に期待

M&Aの推進方針



■これまで、7社のM&Aを実施し、事業領域を拡大

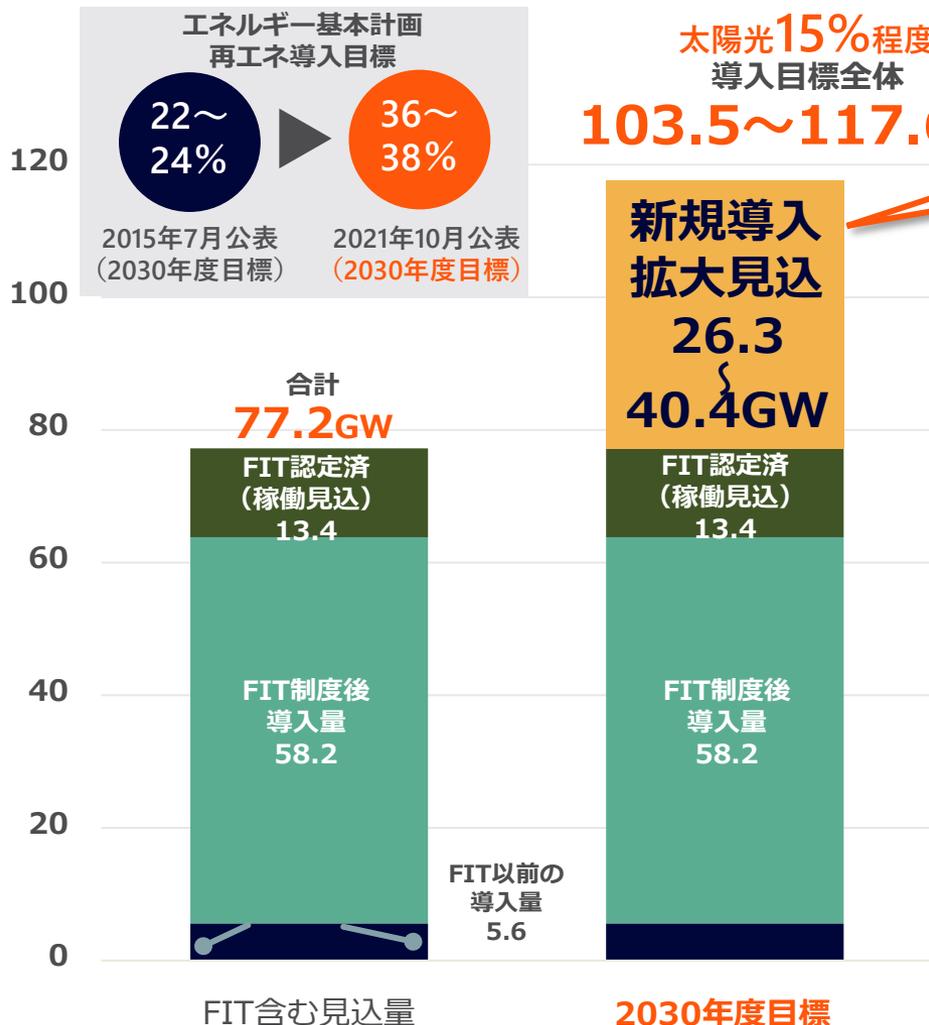


The background is a dark green color. There are two large, thick, gold-colored arcs that sweep across the frame. One arc starts from the top left and curves towards the center. The other arc starts from the bottom left and curves towards the right. The text is positioned in the upper right quadrant, between the two arcs.

当社を取り巻く 事業環境とチャレンジ

事業環境：自家消費型再生可能エネルギーの市場

政府が、エネルギー基本計画に基づいた2030年再エネ導入目標達成を目指し、約27～41GWの太陽光発電設備導入目標を公表しており、**自家消費型**の太陽光発電を中心に今後政策的に増強されると推測。



自家消費を中心に
拡大が見込まれる

担当官庁	エネルギー基本計画で掲げられた施策	導入見込み量GW
政策強化		
環境省	公共部門の率先実行	6.0
環境省	地域共生型太陽光発電の導入	4.1
国交省	空港の再エネ拠点化	2.3
野心的水準		
環境省	民間企業による自家消費促進	10.0
経産省/国交省/環境省	新築住宅への施策強化	3.5
環境省/農水省	地域共生型再エネの導入推進	4.1

太陽光発電のFIT認定量・導入量・2030年度目標 (単位GW)

出典：資源エネルギー庁「今後の再生可能エネルギー政策について」(2022年4月7日)より当社作成

再生可能エネルギー ソリューション事業への挑戦

カーボンニュートラルを掲げる企業や地方自治体へ、従来の太陽光関連製品の提供に留まらず、**自家消費型**の再生可能エネルギーシステムのソリューション事業に取り組みます。

カーポート型太陽光発電設備を用いたPPA事業 (※)



▲産業用カーポート「ネoportタイプ」イメージ

再エネソリューション事業への**挑戦**



● : 当社が**特に**得意とする領域



当社がPPA事業を行う**強み**は、同業他社と比較して、**設計・ものづくり・施工**をグループで手掛けられること（**コスト競争力を発揮できる**）

【参考】PPAと設備販売の比較

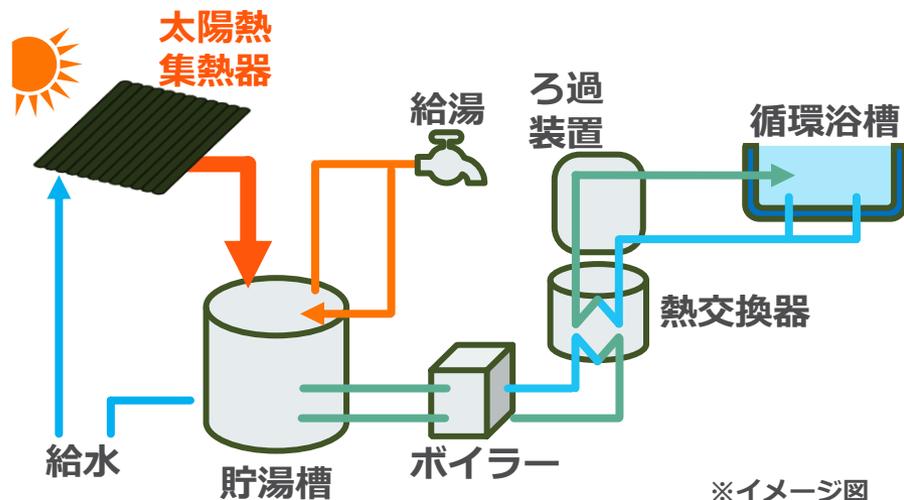
	PPA	自家消費設備の販売
所有者	当社保有	施主保有
施主の初期費用	発生なし	必要
メンテナンス	当社	施主
設備で発電した電気利用料金	有料	無料

PPAとは？

- ・PPA（Power Purchase Agreement）とは電力販売契約という意味で第三者モデルともよばれています。
- ・企業・自治体が保有する施設の**駐車場へ、当社が初期投資0円でカーポートと発電設備を設置し、発電した電気を、企業・自治体へ販売するビジネスモデル**です。
- ・企業や自治体は、電気料金の削減につながり、再エネ利用によるCO2排出の削減が期待できます。

再生可能エネルギー ソリューション事業 事例

事例 1 : 福岡県八女市



▲カーポート型架台&太陽熱集熱器84台 (写真赤囲みの部分)

※イメージ図

【Before】A重油ボイラー熱を用いて、温浴施設へ温水を給湯していた

【After】当社のカーポート型架台に、太陽熱集熱器84台を設置、太陽熱温水供給を実施する計画を策定

→ボイラーのみの利用時に比べ、CO2削減に寄与、燃料費削減も実現できる

年間約130~170万円程度の燃料費削減効果 (推定)、灯油換算で約19,394ℓ相当のCO2削減効果!

事例 2 : 福島県石川町

生産拠点のある福島県石川町との間で「再生可能エネルギーを活用した持続可能な町づくりの推進に関する連携協定書」を締結。

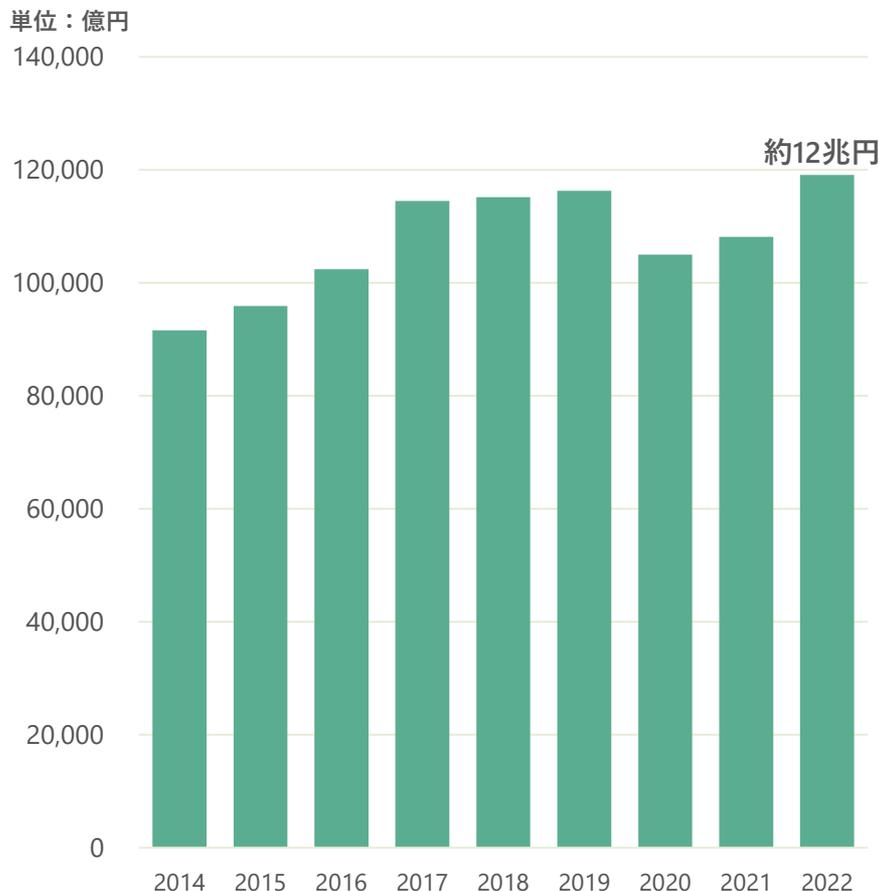
再生可能エネルギーを活用し、相互に有するノウハウやネットワークを活かしながら、地域の活性化に向けた取り組みを推進



事業環境：民間非住宅建築市場の動向（金属サンドイッチパネル）

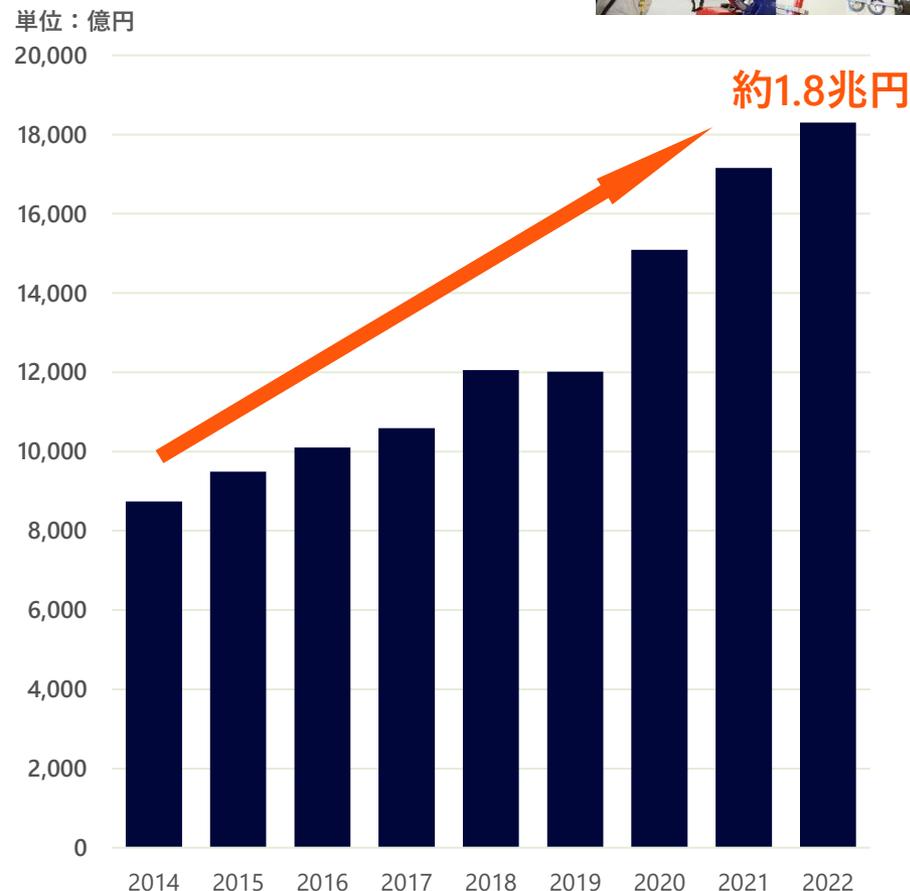
耐火・不燃断熱パネル

金属サンドイッチパネルの市場は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、民間非住宅建築投資全体では慎重姿勢がみられるものの、**物流倉庫**については**EC（電子商取引）の伸び**や、老朽設備の効率化・更新投資等を背景に、工事予定額が増加基調で推移している



■ 民間非住宅建築への投資金額（名目値）

出典：国土交通省「令和4年度（2022年度）建設投資見通し」より当社作成



■ 倉庫用途物件への工事予定額

出典：国土交通省「建築着工統計調査」より当社作成

設備投資（福島第2工場と設備の状況）

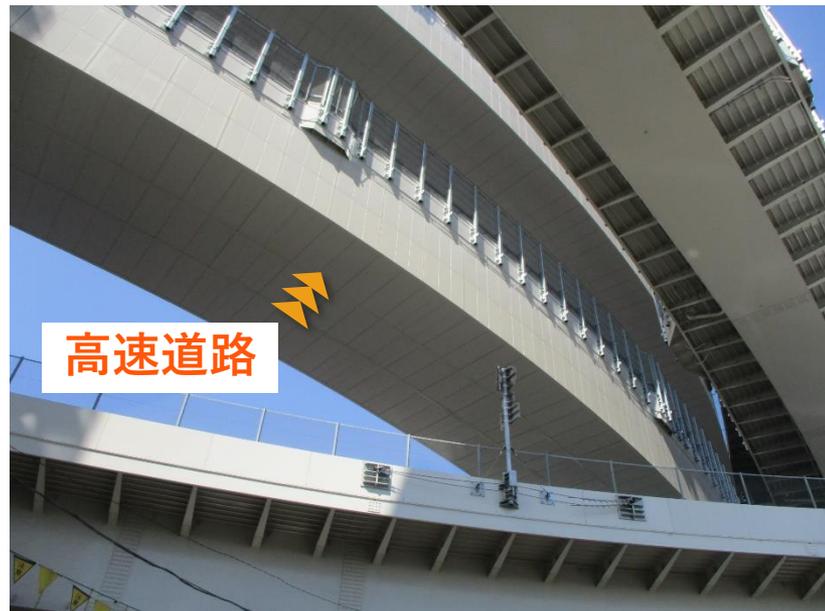
【福島第2工場稼働中の設備】



▲パネルNCルーター加工機

橋梁土木用の建材の一部として用いる金属サンドイッチパネルの加工機です。この外装パネルは、**高速道路**や**鉄道高架**などの橋梁における保守点検作業を効率化できるほか、防錆、美装などの用途も付加できるため、今後普及が期待される建材加工製品です。

【橋梁土木用金属サンドイッチパネルの施工例】



▶長尺パイプ形鋼3Dレーザー加工機

長尺パイプ・形鋼を、様々な角度、形状にレーザー切断、タップ加工できる加工機です。素材の搬入から加工・切断部材の搬出まで、自動で行うことができます。**筐体フレーム**や**建築構造物部材**の加工に用いることのできる設備です。



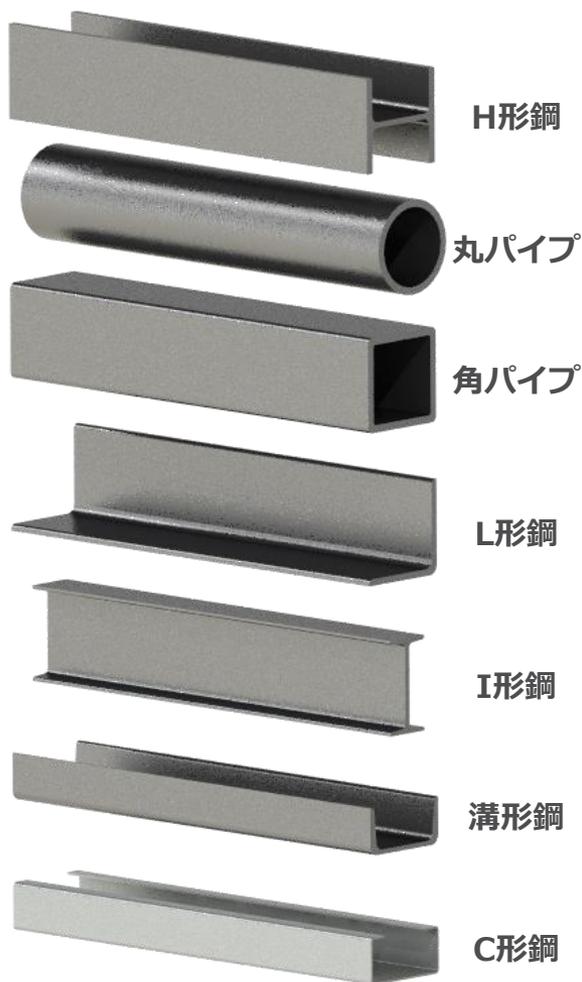
耐火パネル・不燃断熱パネル生産ライン稼働予定の状況について

稼働予定を、設備制御プログラム等の不具合発生により、未定としておりましたが、設備稼働の見通しに一定の目途が立ったため、**2024年4月に稼働予定**といたしております。

設備投資（加工アイテムの拡充）

従来の板加工に加えて、新たな形鋼加工を追加することにより、「あらゆる金属加工をワンストップで行える」体制を強化し、さらなる販路拡大に努めております。

素材：形鋼



形鋼加工への進出



加工事例



焚き火台「灯：Akari」シリーズ

鉄骨など建築構造物



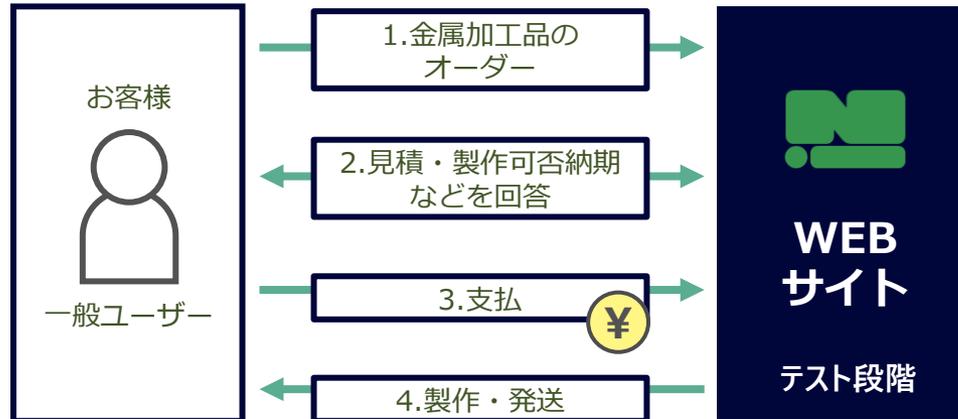
当社が狙う形鋼加工市場

形鋼を加工した部材は、鉄骨など建築構造物や、装置架台や筐体フレーム、などに用いられます。当社で今後取り組みを強化するソーラーカーポート構造物や金属サンドイッチパネルの下地材にも用いることができます。

「加工のプラットフォーム」への挑戦（中長期的な構想）

当社がグループビジョンとして掲げる「加工の総合商社」を具現化し、グループシナジーを最大化するために、「加工のプラットフォーム」実現を目指す。第一弾として、BtoC向けWEBサイトを立ち上げ。

現在運用中のもの



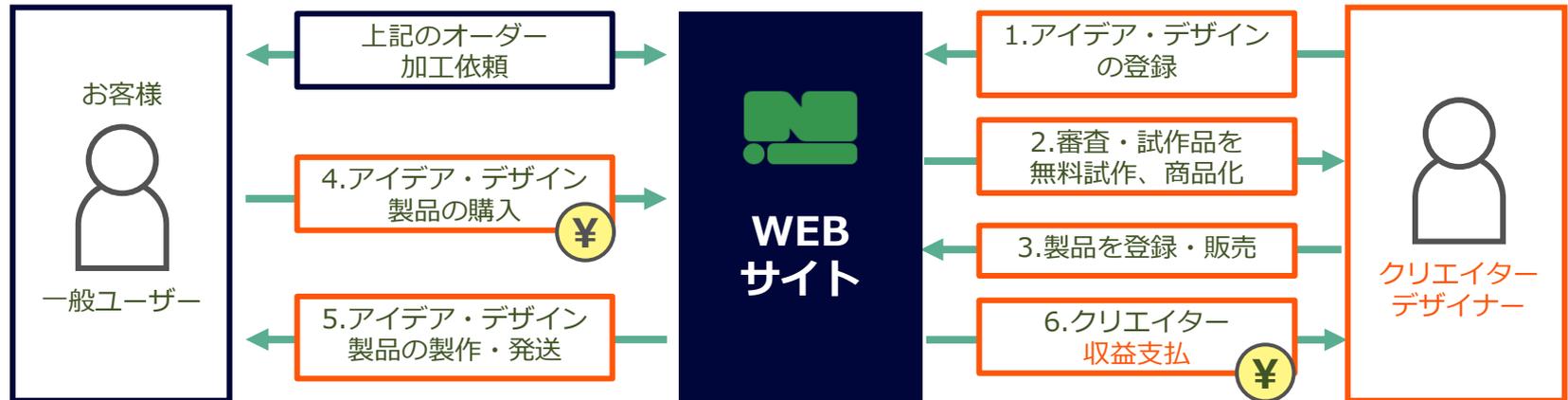
【背景】

一般ユーザーが金属加工のオーダー加工品を依頼できる先がない

・金属加工を中心に、一般ユーザーマーケット（BtoC）に向けて、WEBでオーダー加工の受注をスタート

将来構想

・上記に加え、アイデアを持つクリエイターやデザイナーが製品化をできる機能を追加





2023年8月期 第2四半期決算概況

売上高は、前年同四半期比75.9%増
営業利益は、前年同四半期比187.4%増

主として金属加工事業においてオーダー加工品の案件が増加したこと、建設事業における電気工事及び内装工事の伸長、M&Aによりグループ化した株式会社壹会の業績寄与により、前年同四半期比より増加で推移。また、特別利益（負ののれん発生益）の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は大きく上振れました。

連結

売上高 52億08百万円

営業利益 3億33百万円

当期純利益 17億40百万円

EBITDA 5億57百万円

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※M&Aによりグループ化した株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノス並びにニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社については、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

2023年8月期第2四半期業績ハイライト (セグメント)

金属加工事業

売上高 2,410百万円 (前年同四半期比17.3%増)
セグメント利益 219百万円 (同44.6%増)
受注残高 1,369百万円 (同3.9%減)

金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の案件が増加したことで、売上高は2,410百万円 (前年同四半期比17.3%増)、受注残高は1,369百万円 (同3.9%減)

ゴム加工事業

売上高 568百万円 (前年同四半期比1.8%減)
セグメント利益 115百万円 (同16.4%減)
受注残高 86百万円 (同17.2%減)

既存取引先との関係強化に積極的に取り組み、一定案件の受注を確保しましたが、材料費率が若干上昇し売上高は568百万円 (前年同四半期比1.8%減)、受注残高は86百万円 (同17.2%減)

建設事業

売上高 2,229百万円 (前年同四半期比579.5%増)
セグメント利益 255百万円 (前年同四半期は6百万円)
受注残高 3,363百万円 (同94.5%増)

電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、M & Aによりグループ化した株式会社壹会の業績寄与により、売上高は2,229百万円 (前年同四半期比579.5%増)、受注残高は3,363百万円 (同94.5%増)

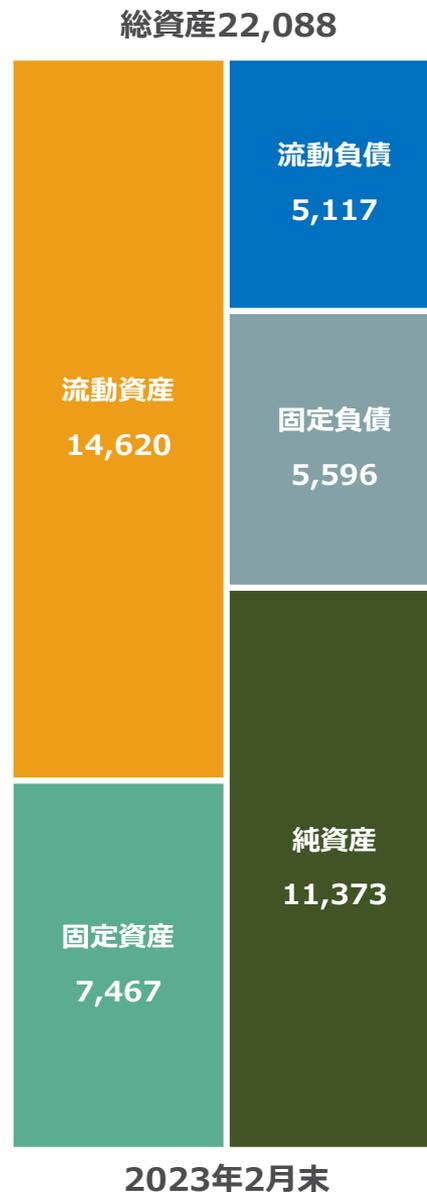
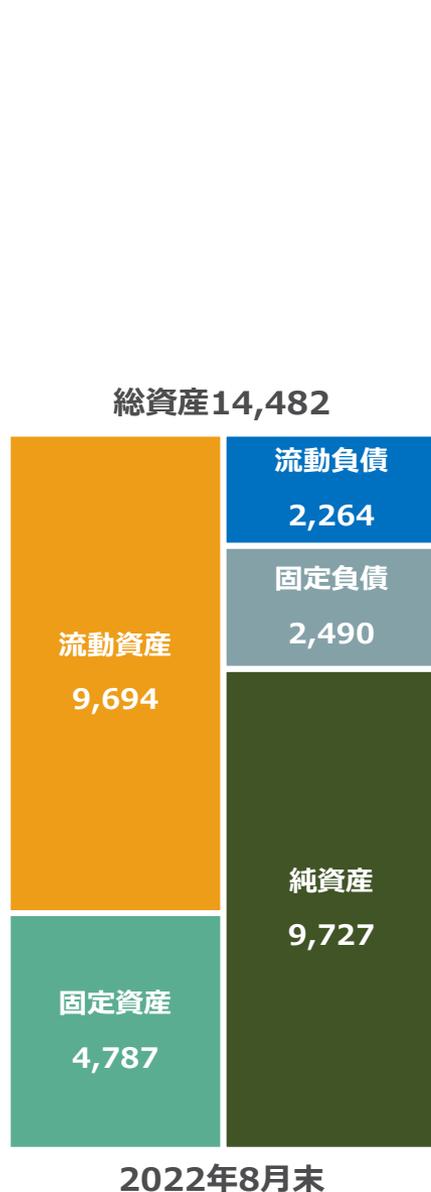
※M&Aによりグループ化した株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノス並びにニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社については、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

2023年8月期第2四半期業績ハイライト (連結・損益計算書)

(単位：百万円)

	2022.08期 第2四半期	2023.08期第2四半期					
		計画	実績	前年同期比		計画比	
売上高	2,961	4,900	5,208	+ 2,247	+75.9%	+ 308	+6.3%
営業利益	116	420	333	+ 217	+187.4%	△ 86	△20.6%
(営業利益率)	(3.9%)	(8.6%)	(6.4%)	—	(+2.5P)	—	(△2.2P)
経常利益	123	420	345	+ 221	+178.7%	△ 74	△17.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	42	300	1,740	+ 1,698	+4015.7%	+ 1,440	+480.3%
EBITDA (営業利益 +減価償却費+のれん償却額)	278	666	557	+ 279	+100.7%	△ 108	△16.3%
受注残高	3,258	—	6,023	2,765	+84.9%	—	—

2023年8月期第2四半期業績ハイライト (連結・貸借対照表)



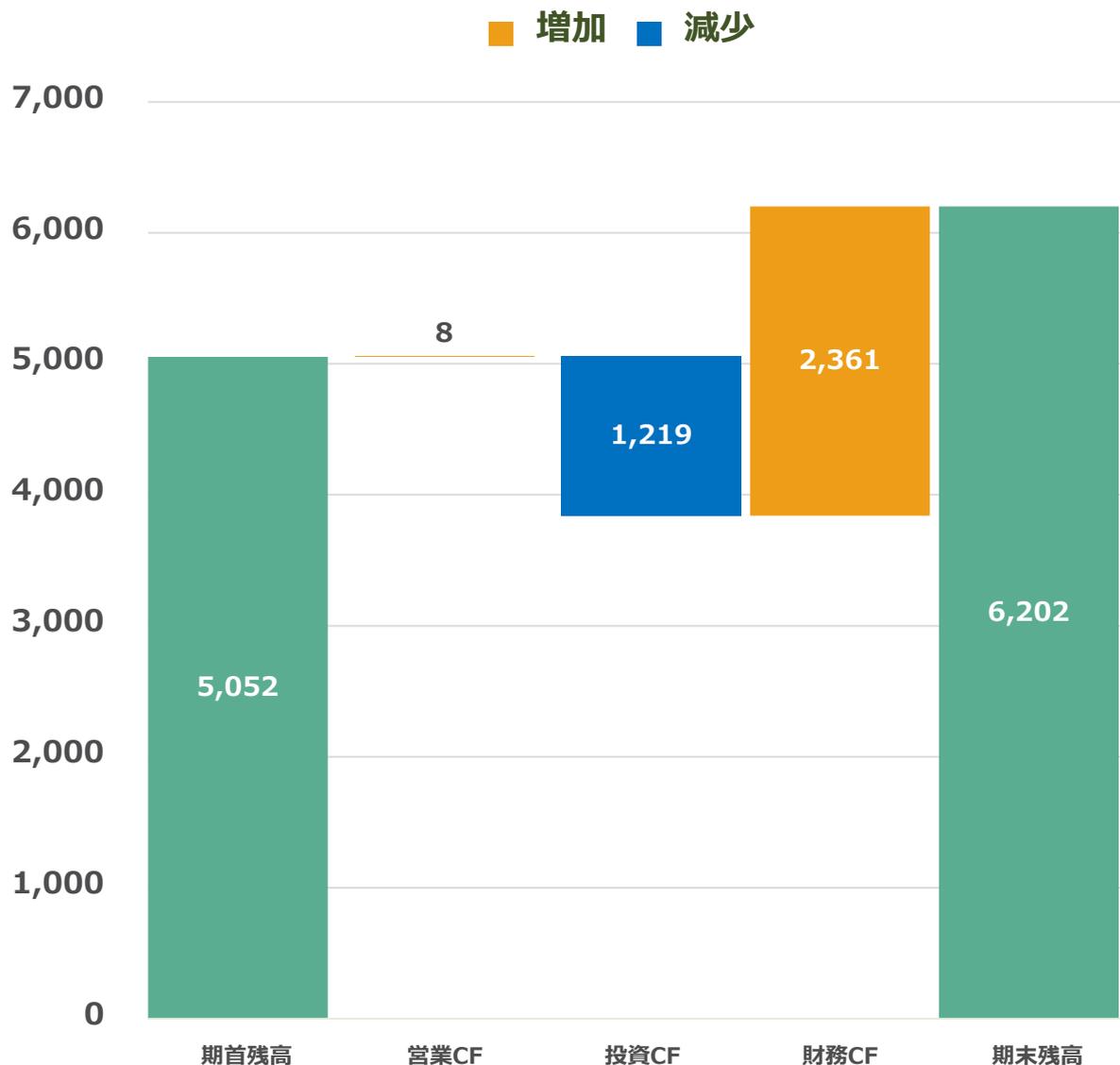
主な増減要因

(単位：百万円)

流動資産	前期末比+4,926
連結子会社の増加により、	
<ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金1,622 ・受取手形、売掛金、契約資産1,848 ・電子記録債権320 ・商品及び製品963 	
固定資産	前期末比+2,680
連結子会社の増加により、	
<ul style="list-style-type: none"> ・建物及び構築物（純額）602 ・土地1,689 	
流動負債	前期末比+2,853
連結子会社の増加により、	
<ul style="list-style-type: none"> ・支払手形及び買掛金534 ・短期借入金960 ・1年内返済予定の長期借入金752 	
固定負債	前期末比+3,106
連結子会社増加により、	
<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金2,381 ・固定負債その他604 	
純資産	前期末比+1,645
特別利益（負のれん発生益）の計上により	
<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金1,641 	

2023年8月期第2四半期業績ハイライト (連結・キャッシュフロー計算書)

(単位：百万円)



営業キャッシュフロー +8

税金等調整前当期純利益1,912
 減価償却費197 仕入債務の増加281
 未払消費税等の増加215
 負ののれん発生益△1,567
 売上債権の増加△830
 棚卸資産の増加△141
 法人税等の支払額△131

投資キャッシュフロー △1,219

有形固定資産の取得による支出△190
 連結の範囲の変更を伴う
 子会社株式の取得による支出△980

財務キャッシュフロー +2,361

短期借入金の純増額960
 長期借入れによる収入1,800
 長期借入金の返済による支出△292
 配当金の支払額△97

2023年8月期第2四半期業績ハイライト (連結・セグメント)

(単位：百万円)

	2022.08期 第2四半期	2023.08期 第2四半期	前年同期比	
売上高	2,961 (構成比)	5,208 (構成比)	+ 2,247	+75.9%
金属加工事業	2,054 69.4%	2,410 46.3%	+ 356	+17.3%
ゴム加工事業	578 19.5%	568 10.9%	△ 10	△1.8%
建設事業	328 11.1%	2,229 42.8%	+ 1,901	+579.5%
セグメント利益	295 (構成比)	590 (構成比)	+ 295	+99.7%
金属加工事業	151 51.4%	219 37.2%	+ 67	+44.6%
ゴム加工事業	137 46.6%	115 19.5%	△ 22	△16.4%
建設事業	6 2.0%	255 43.3%	+ 249	—
調整額	△ 179 —	△ 257 —	△ 77	—
営業利益	116	333	+ 217	+187.4%

※セグメント利益の合計額と営業利益との差異は、主として、子会社株式の取得関連費用及び各報告セグメントに配分していない全社費用

※M&Aによりグループ化した株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノス並びにニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社については、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、上記業績には含まれておりません。

The background is a dark green color. There are two large, thick, gold-colored arcs. One arc is on the left side, curving from the top towards the bottom. The other arc is at the bottom, curving from the left towards the right. The text is centered in the upper right area.

2023年8月期 業績見通し

2023年8月期業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	2022.08期	2023.08期		
		計画	前年同期比	
売上高	7,374	11,900	+ 4,525	+61.4%
金属加工事業	4,418	5,130	+ 711	+16.1%
ゴム加工事業	1,116	1,070	△ 46	△4.2%
建設事業	1,839	3,750	+ 1,910	+103.9%
タイル事業	—	1,950	—	—
営業利益	358	580	+ 221	+61.7%
（営業利益率）	（4.9%）	（4.9%）	—	—
経常利益	396	580	+ 183	+46.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	154	1,900	+ 1,745	+1128.7%
EBITDA （営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額）	747	1,073	+ 326	+43.7%

2023年8月期 業績見通し

売上高11,900百万円

（前年同期比61.4%増）

営業利益 580百万円

（同61.7%増）

- 2023年8月期の通期の連結業績予想については、株式会社天神製作所の子会社化を下期に予定していることから、連結会計上の一時的な費用である株式取得費用145百万円（上期実績105百万円、下期予定40百万円）を織り込むとともに、各子会社に係る業績見通しを勘案。
- また、上期における特別利益（負ののれん発生益）の計上に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益についても見直し。



第3次中期経営計画 進捗報告

第3次中期経営計画について

第3次中期経営計画テーマ

“Challenge”

【第2次中期経営計画の反省】

・第2次中期経営計画の戦略投資枠50億円については、東証上場審査や、新型コロナウイルスの影響を受け、設備投資を抑制、またM&A実績もゼロとなった。

中期経営戦略（基本戦略）

成長への投資

- ・成長を加速させるため、資金を、**M&A、設備、人材、新規事業**へ重点的に投資

持続的成長に向けた経営基盤づくり

- ・グループリスク管理の強化
- ・コーポレートガバナンスコードへの対応
- ・コンプライアンス経営の強化
- ・業務改善の推進
- ・製造原価削減の推進

サステナビリティの基本方針

加工を通じてあらゆるニーズにお応えすることで、**社会的価値と経済的価値**を満たしていく

第3次中期経営計画（定量的目標）

金属加工事業

売上高
52.9億円→**87.5億円**
(+34.6億円)

ゴム加工事業

売上高
10.9億円→**12.5億円**
(+1.6億円)

建設事業

売上高
11.4億円→**20億円**
(+8.6億円)

M&A

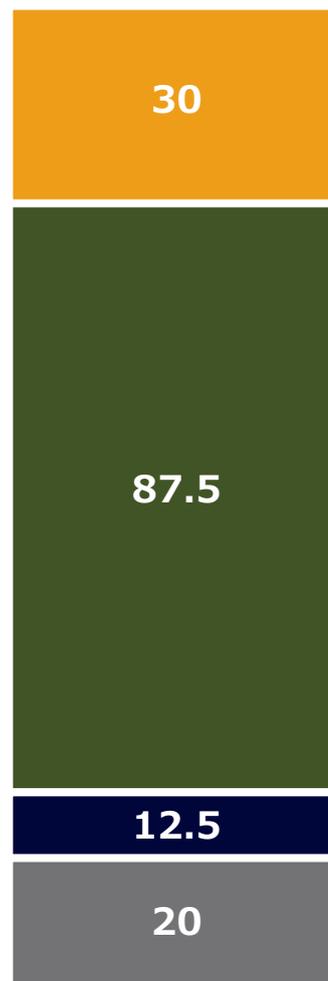
売上高
30億円
(+30億円)

- 金属加工事業
- ゴム加工事業
- 建設事業
- M&A



2021年8月期
実績（連結）

150億円



2024年8月期
目標（連結）

2024年8月期
目標（連結）

売上高
150億円

EBITDA
15億円

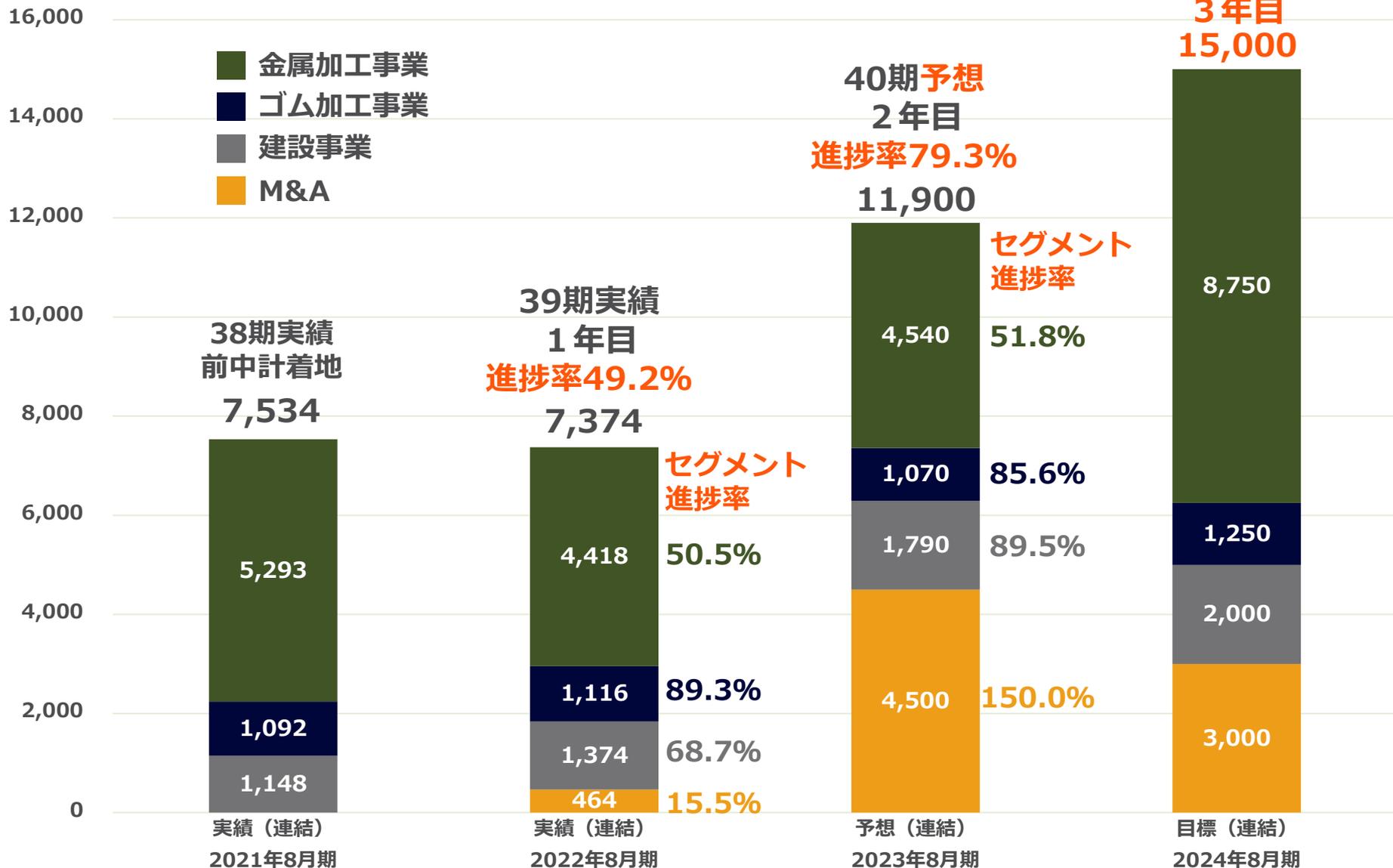
※EBITDA
= 営業利益 + 減価償却費
+ のれん償却額

3か年の投資枠
目標金額

50億円

第3次中期経営計画（定量的目標に対する進捗状況）

単位：百万円



The background is a dark green color. There are two large, thick, gold-colored arcs. One arc starts from the top left and curves towards the center. The other arc starts from the bottom right and curves towards the center. The text is centered in the space between these arcs.

当社の配当方針

配当方針

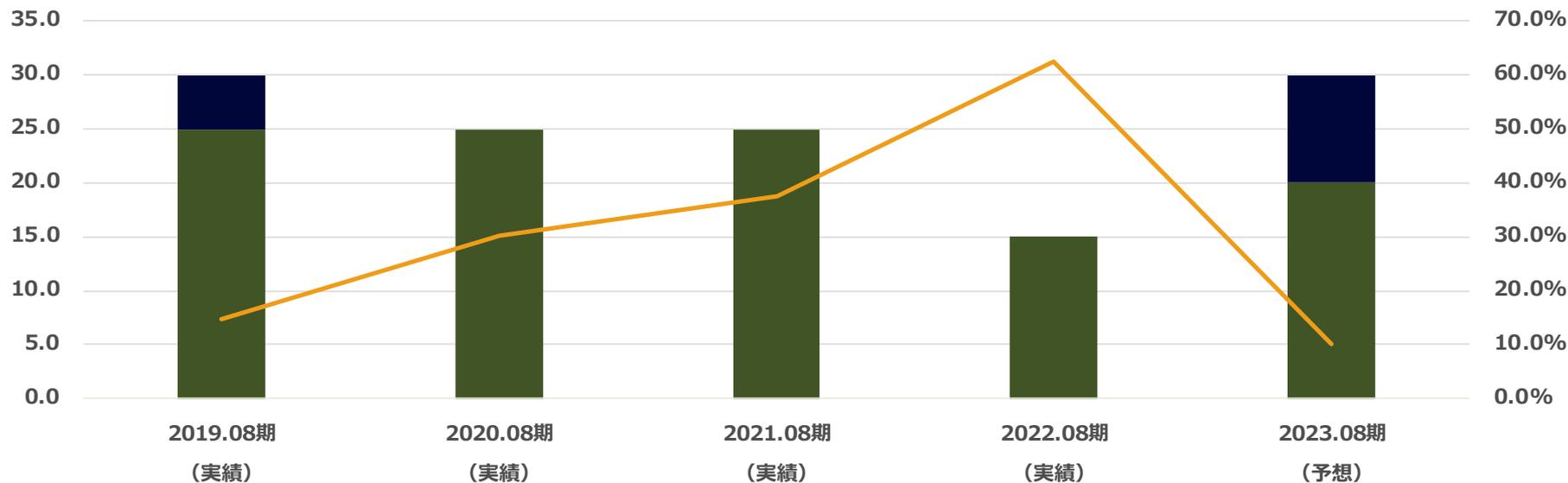
(円. 銭)

配当に対する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

	2019.08期 (実績)	2020.08期 (実績)	2021.08期 (実績)	2022.08期 (実績)	2023.08期 (予想)
記念配当	5.0	—	—	—	10.0
普通配当	25.0	25.0	25.0	15.0	20.0
計	30.0	25.0	25.0	15.0	30.0
配当性向	14.7%	30.1%	37.6%	62.5%	10.3%

■ 普通配当 ■ 記念配当 — 配当性向



お問い合わせ先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-555-2825

<https://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

<ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。